

「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議および第4回認証審査委員会議事要録

日 時：2020年7月18日（土）13:00～16:00

場 所：WEB会議（ZOOM）

出席者：（各学会等代表者）武見ゆかり（日本栄養改善学会）、赤尾正（日本給食経営管理学会）、濱田千雅（健康経営研究会）、早渕仁美（日本高血圧学会）、梅澤光政（日本公衆衛生学会）、綿田裕孝（日本糖尿病学会）、長井美穂（日本腎臓学会）、脇昌子（日本動脈硬化学会）、大川周治、服部佳功（日本補綴歯科学会）、由田克士（日本産業衛生学会）、武藤倫弘、若林敬二（日本がん予防学会）

オブザーバー

（日本栄養改善学会食環境整備委員会 外食中食審査WG）赤松利恵、串田修
（日本給食経営管理学会 給食審査WG）市川陽子、石田裕美、太田淳子、別所京子
（令和2年度厚生労働科学研究「健康な食事」班 主任研究者）林 美美
（事務局関係者）土屋 文、蛭名果歩

欠席者：津下一代（日本肥満学会）、助友裕子（日本健康教育学会） 後日個別に説明

1. 開会：出席者自己紹介の後、議事に入った。

議長は規約に基づき、世話役の日本栄養改善学会 武見ゆかりが務めた。

2. 「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議

1) 第4回認証制度 応募状況及び技術審査結果について（資料2-1, 報告事項）

応募件数 133 件（外食：22 件／中食：15 件／給食：96 件）であった。形式審査及び技術審査において、取り下げ2件、部門変更1件あり、本審査件数は132件（外食：20 件／中食：16 件／給食95 件）と報告された。

参考として、第1回～3回の応募・認証件数が示された。応募は着実に伸びており、特に給食部門は、第1回39件の応募から今回96件と伸びが大きいと報告があった。

2) 第1・2回認証事業者更新状況について（資料3-1, 報告事項）

第1回・2回認証事業者の更新状況について説明があった。外食部門の更新については、新型コロナウイルス感染対策の影響がみられ、更新不可或いは検討中の事業者もあり、7月中に確認し、更新の有無を確定すると報告があった。

3) 更新時アンケート結果（外食・中食部門）（資料3-2, 報告事項）

外食・中食部門の更新時項目の集計結果について、赤松外食・中食審査WG代表より報告があった。第1回認証事業者については、ほとんどが更新され、第2回認証事

業者は今回の更新と次回更新とが半々位であった。スマートミール利用者の反応では、約6割から反応があり、良好な反応が多かった。また、店舗の売り上げでは、変化なしが最も多かったが、「増加した」「やや増加」したが24%と、「減少した」(4%)より多かった。

4) コンソーシアムの今後の運営体制について(資料4, 審議事項)

武見世話役より今後の運営体制について説明が行われ、審議の結果、3年後(2023年7月)を目途に、「健康な食事・食環境」コンソーシアムを一般社団法人化し、安定した運営体制を確立めざすことで、承認された。

年間の実費予算として約150万円が必要であり、この費用獲得に向けて、審査料などの具体的な内容は、本会議の意見をふまえて提案(別紙)をまとめ、後日、各学会で審議していただくこととなった。

また今後3年間に、一般社団法人とする場合の組織体制(各学会の関与など)を検討していく必要性が確認され、次年度以降、継続審議となった。

当面3年間の具体的な運営について、以下が承認された。

(1) コンソーシアムとして、安定的に収入を得る活動を開始する。

- ① 新規応募時および更新時に、事業者から審査料を徴収する。第5回応募時(2021年1月~2月)までを無料とし、事前予告して、第6回(2022年1月~2月)から有料とする。(審査料案は別紙参照)
- ② コンソーシアムの賛助会員制度を作り、認証事業者以外の企業・団体等から賛助金を募集する。2020年から開始する。(賛助金案は別紙参照)
- ③ 関連する研究助成・事業助成に積極的に応募する。

(2) 事務局体制を整備する。

- ① 事務局は、女子栄養大学食生態学研究室に置く(大学から、無償での設置について了解済)。
- ② 事務局名称を、「健康な食事・食環境」推進事業事務局から、「健康な食事・食環境」コンソーシアム事務局に変更する。
- ③ 専属の事務局員(非常勤)を置く。

(3) 日本栄養改善学会(世話役)と日本給食経営管理学会(副世話役)の役割としては、従来通り、中心的な関与を行う。

- ① 日本栄養改善学会は、年間80万円の事業費を予算化し、コンソーシアムの活動を支援する。認証基準の科学的根拠の更新や技術審査、評価・モニタリングと

担当する。

②日本給食経営管理学会は、給食部門の形式審査・技術審査、評価・モニタリングなどを担当する。

5) 経済産業省「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」に係る宣言書の提出について（資料5, 審議事項）

武見世話役より経済産業省「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」について説明があった。今後、COI 規程及びプライバシーポリシーを整備した上で、宣言書を提出することに承認が得られた。

6) 令和2年度厚生労働科学研究 研究班との連携について（資料6, 審議事項）

女子栄養大学の林准教授より令和2年度厚生労働科学研究の具体的な説明があり、データ利用について審議の結果、承認された。

研究テーマ：「健康な食事」の基準の再評価と基準に沿った食事の調理・選択に応じた活用支援ガイドの開発

7) 厚生労働省スマートライフプロジェクトとの連携について（報告事項）

武見世話役より、口頭で、厚生労働省スマートライフプロジェクト「スマートミール探訪」企画の説明があり、中食および給食部門で認証された事業者を取材し、紹介したいとの申出について審議の結果、承認された。尚、外食部門については、厚労省が新型コロナ感染予防対策の影響で難しいと判断し、今回の企画から除外されていることが伝えられた。

（日本産業衛生学会はこれ以降退席）

3. 第4回応募事業者の認証審査（審議事項）

はじめに、給食部門 WG 市川代表より給食部門の第4回応募事業者について説明があり、応募95件中91件の認証が決定した。尚、4施設については、WG で必要事項を確認し、認証の可否の判断はWGに一任された。

次に、外食・中食部門 WG 赤松代表より外食部門20事業者、中食部門16事業者の応募内容の説明があり、外食部門応募20件中18件、中食部門16件中16件の認証が決定した。外食事業者の2件については、WG で追加確認することになり、認証の可否の判断はWGに一任された。

尚、ドレッシングを別添えで提供している場合は、量について基準を設ける必要があるなどの意見があり、今後検討することとなった。

4. 第1回更新事業者の認証審査（審議事項）

【給食部門】

第1回認証34件（更新31件、更新しない3件）

第2回認証72件（更新9件、今回更新しない50件、不明13件）

更新でオプション項目を追加し、星数の変更を申請している事業者が10施設あり、追加オプション項目が10以上の所も3施設あり、確認後、認証はWGに一任された。

【外食部門】

第1回認証25件（更新22件、更新しない2件、保留1件）

第2回認証31件（更新16件、次回更新9件、失効1件、不明5件）

中食部門

第1回認証11件（更新8件、更新しない1件、失効1件、保留1件）

第2回認証16件（更新11件、次回更新4件、保留1件）

第1回の保留は、7月中に確認をとることで承認された。第2回認証事業者で回答がまだないところは、来年度に更新の案内を送る。

更新で変更希望があった5件中、1件のみ修正資料が未提出であり、7月中に確認をとる。未確定の案件の認証はWGに一任された。

以上

記録 土屋文（事務局）
文責 武見ゆかり（世話役）